



269

若竹だよい



【巻頭言】

トックリ蜂

— 蜂に生命の継承を観る —

園長 野田大燈

遍路小屋の真向かいにある建物所有者の方から「役に立つならご寄附したい」との申し出がありました。

以前からの課題だった女性専用の遍路小屋として使用させて頂く事にしました。

長く使用してなかった建物は雑草や蔦に絡まれていましたので、周囲の状況を確認するために建物の裏側に回ってみると、蔦の枝に変なものがかぶら下がっていました。

よくよく見ると酒徳利に似た蜂の巣でした。しばらく眺めていますと蜂の巣から少し大きめの蜂が出て来て私を威嚇するように巣の周囲を旋廻してまた巣の中に入って行きました。初めて見た蜂の巣なのでカメラに収めて知人に見てもらおうと「これはトックリ蜂の巣だよ」と教えてくれました。

確かに酒徳利にそっくりです。それで仮にトックリ蜂とよんでいるのかなあ、と思って学園に持って帰り、子ども達に見せると、A 君が「ああ、トックリ蜂の巣だね」と言いました。他の子ども達も職員も知りませんでした。

そこで学習兵器のパソコンを使用して「トックリ蜂」と入力すると、たくさんの情報が出てきました。驚くことばかりでしたが、この酒徳利そっくりの蜂の巣は、蜂が自分の頭ほどの土を運んできては唾液で捏ね、自分の身体をコンパスとして使って見事な



徳利形円形の巣を作ると言うのには感心しました。

そして更に驚いたのは、蜂の巣は家族の為ではなく、自分のたった一匹の子どもの為のみに作るそうです。

そして卵を一個のみ入れて、その子蜂のための食料として蛾の幼虫に毒を刺して生きたまま入れて蓋をするそうです。

幼虫の子蜂は母親を確認できるほどには成長していない状態で蓋をされてしまうので幼虫は母蜂を認識することは出来ないのです。

母蜂も同じ育ちをしているので人間のように親蜂から巣作りを教わることはないのです。つまり体内の DNA に刷り込まれた巣作りの本能に従って、土を運び唾液と混ぜて漆喰壁のように頑丈な巣を作り、たった一個の卵のために蛾の幼虫を昏睡状態にして保存させるのです。

そして卵が幼虫になり、餌が食べられるようになった時に母蜂が閉じ込めてくれていた蛾を食べるのです。

トックリ蜂は泥蜂科の小形スズメバチだそうです。たかが蜂、でも蜂にも蜂の世界があるのです。

蜂の生態を通して親の子に対する愛情を再確認しました。

— 了 —

7月青峰・若竹学級だより

修学旅行・校外学習



6月9・（木）10日（金）に中学3年生と小学6年生は京都へ修学旅行に行きました。初日は、インスタントラーメン発明記念館、東映太秦映画村、金閣寺を見学。二日目は、



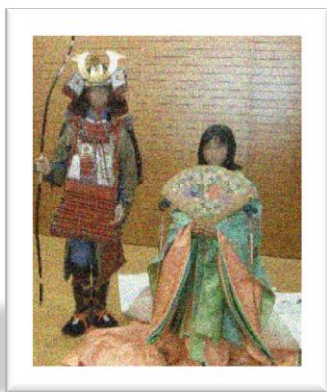
清水寺、京都水族館、鉄道博物館を見学したあと、八つ橋を手焼き体験をして、高松に

帰ってきました。ハードな二日間でしたが、体調を崩すことなく、楽しい思い出が作れたようです。



他の学年の子どもたちは、10日（金）に高松市のサンポートに校外学習に行きました。

eとぴあ香川では、実際にパソコンの操作をしたり、香川県立ミュージアムでは鎧兜や十二単を身にまったりしました。



教室では学べない体験ができ、楽しく学ぶことができました。

授業風景

毎日、小学生は「若竹学級」、中学生は「青峰学級」で元気に学んでいます。今月は日々の授業風景を紹介します。

小学生は6年生と4・5年生の2クラスあります。で授業を行っています。技能系の教科と理科は合同で



授業を行い、他の教科と道徳は各クラスで授業を行っています。授業は、まず一斉に説明を行い、そのあと個別に学習指導をする形態を取っています。特に算数は、何回も計算問題を繰り返して行い、計算技能の向上に努めています。

中学生は学年毎にクラスを分けています。理科は各教室で実験を行ったり、ビデオを視聴して学習内容の定着を図っています。数学では共通課題と個別課題を準備し、学習支援員と協働して個別指導にあたり、個人差に対応しています。社会はプロジェクターで資料や写真を投影して、視覚に訴える授業に取り組んでいます。



技能系教科は中学生全員で授業を実施しています。教員1人が授業を進め、他の教員と学習支援員とで個別の対応を行っています。



じゃがいも調理



6 月 5 日に農園で採れたじゃがいもを調理しました。ポテトチップス、バイクドポテトなどをみんなで分担をして、協力しながら作ることができました。自分たちが調理した物を食べ「おいしい！」という声が聞こえてきました。実際に自分たちで作って食べるとおいしさが何倍にもなるのではないのでしょうか。



すわらじ劇団

6 月 7 日に今年もすわらじ劇団さんに招待され「花火」を鑑賞しました。普段触れることが無い劇に、子どもたちは静かに落ち着いて観賞することができていました。



にくてん作り

6 月 18 日ににくてん作りを行いました。にくてんとは、兵庫県発祥のお好み焼きです。にくてんを初めて作る子どもが多かったので、「お好み焼きに似ている」といった声も聞こえてきました。味付けをして自分たちで作ったにくてんは、とてもおいしかったのかすぐに完食していました。



夏祭りに向けて

6 月 13 日から若竹学園の夏祭りに向けて準備をしています。子どもたちが一生懸命準備して、夏祭りを心待ちにしているのが伝わってきます。今年は、去年と少し違った出店などがあるので、前回とは違った夏祭りになるのではないのでしょうか？





行事

平成27年度 事業活動計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日(単位:円)

勘定科目	決算額
児童福祉事業収益	330,986,841
経常経費寄附金収益	1,143,930
その他の収益	50,000
サービス活動収益計①	332,180,771
人件費	195,845,905
事業費	53,914,955
事務費	34,702,842
減価償却費	18,649,943
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 10,456,511
サービス活動費用計②	292,657,134
サービス活動増減差額③(①-②)	39,523,637
サービス活動外収益計④	3,774,639
サービス活動外費用計⑤	3,308,650
サービス活動外増減差額⑥(④-⑤)	465,989
経常収支差額⑦(③+⑥)	39,989,626
特別収益計⑧	328,060,983
特別費用計⑨	333,350,397
特別増減差額⑩(⑧-⑨)	△ 5,289,414
当期活動増減差額合計⑪(⑦+⑩)	34,700,212
前期繰越活動増減差額⑫	82,800,141
当期末繰越活動増減差額⑬(⑪+⑫)	117,500,353
その他の積立金取崩額⑭	169,280,800
その他の積立金積立額⑮	35,000,000
次期繰越活動増減差額⑯(⑬+⑭-⑮)	251,781,153

4 日	図書館学習	1 3 日	夏祭り準備
5 日	じゃがいも調理	1 6 日	買物学習
7 日	すわらじ観劇	1 8 日	食育 図書館学習

在籍人数 平成 28 年 6 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	2	2	4
	中学生	4	7	11
	その他	0	0	0
	計	6	9	15
女 子	小学生	1	0	1
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	5	1	6
合計		11	10	21

平成27年度 貸借対照表 平成28年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	
流動資産	376,809,432
基本財産	691,315,229
その他の固定資産	236,240,033
資産の部計	1,304,364,694
負債の部	
流動負債	293,211,862
固定負債	48,727,545
負債の部計	341,939,407
純資産の部	
基本金	114,363,888
国庫補助金等特別積立金	393,233,246
その他の積立金	203,047,000
次期繰越活動増減差額	251,781,153
純資産の部計	962,425,287
負債及び純資産の部合計	1,304,364,694

編集後記

6月に入って雨が多く、ジメジメとしていますが、子どもたちは元気一杯に走り回っています！
セラピスト補助 西功貴

第 269 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp/>
 Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 野田 大燈